

平成 27 年度安全大会

1. 日 時;平成 27 年 4 月 13 日(月) 9 時～12 時

2. 場 所;自社会議室

3. 出席者;当社社員 41 名

協力会社 (株)湊電商工業様, (株)ユーテック様
一叶土木工業様

来 賓 北海道電力(株)様, 北海電気工事(株)様
計 48 名



4. 内 容(要旨)

(1) 社長挨拶

- ・平成 26 年度は, 昨年に続き 苫小牧地域の北海道電力様と北海電気工事様に於かれては無災害であった。組織長の長年の努力と采配によるものだと思います。今後ともご指導願いたい。
- ・一方当社は, 残念ながら 1 件の労働災害が発生した。幸い, 不慮ではあったが, 我々が普段常識と思っている知識が, それ以外の人たちには既知ではないこともあることを知ることとなった。この災害で得た教訓を今後の全ての業務に反映させることが必須である。
- ・本日の安全大会で得た知識を今後の業務へ役立てて頂きたい。



(2) H26 年度災害事例紹介

発注者様より提供頂いた災害発生状況分析結果や種々の災害報告の中から, 特に当社に関係深い内容について報告し理解を深めた。



(3) 安全講話

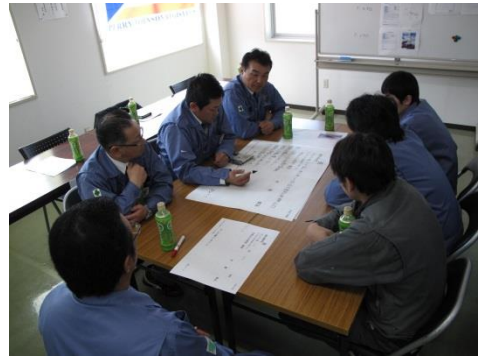
当社十勝営業所長を講師とし「カタカナマジック」と題して講義があった。

- ・KY を行う上で重要なことは, できるだけ危険状態を具体的に抽出し, 具体的な言葉で表現・記載し, 参加者に理解させることである。
- ・このとき, カタカナ表記による単語表現は, その言葉の持つ意味合いを曖昧にさせることが多い。
- ・例えば「ルール」ではなく「規則」と表現したほうが, 言葉としての心に響く重みがあり遵守意識が高まる。
- ・今後の KY 活動を行っていく上で, 是非取り組んでみてもらいたい。



(4) グループ検討会

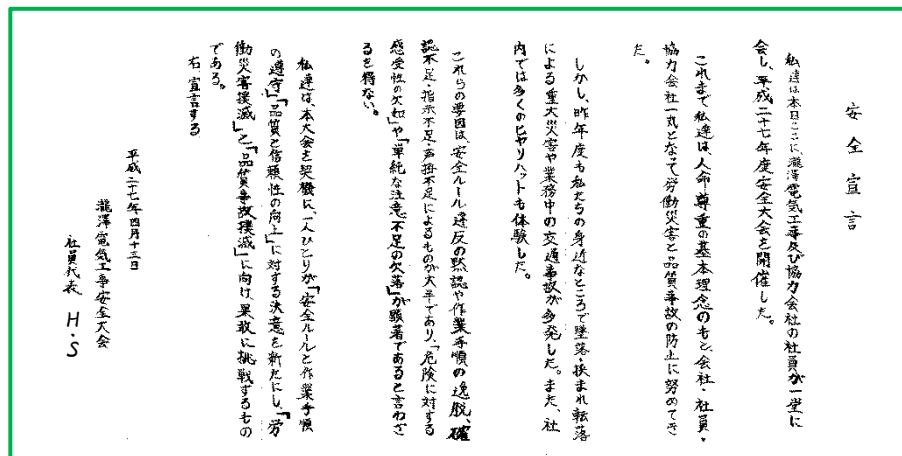
昨今の工事では、事故の未然防止の観点から、安全監視者の重要性が高まっている。これを鑑み、安全監視者としての力量(自覚・重要性等)についてレベルアップしてもらう意味から「自分が安全監視者だったらどうする?」をテーマとし、過去の事故事例を題材として検討会を行った。6班に分かれて検討会を実施し、各班より現場作業に直結した発表がなされた。



(5) 安全宣言・スローガン唱和

H社員より社長へ安全宣言が手渡された。その後、安全スローガン「一人ひとりの危険感受性を高め「報告・連絡・相談」を徹底しゼロ災を達成しよう」を参加者全員で唱和した。

なお、前回に続き今回の安全宣言、安全スローガンは、毛筆による直筆であり安全に対する気迫が十分に伝わるものであった。



(6) 来賓挨拶

① 北海電気工事(株) 小牧支店長代理様

- ある電気月刊誌に「事故の芽を早期に摘み取るために」という内容で、なぜ事故が起きるのかについての要因分析が紹介されていた。
- 「責任感の強い人は、やり抜こうとするあまりオーバーランしてしまうことがある」「注意標識や安全区画は自分のためであることを認識する」「知識や経験により危険なことを知ったうえで行動することがあり、時としてこれらが災害の要因になりうる」といったものである。
- 平成27年度も既に工事が始まっています。今年度も労働災害、品質不良事故ゼロを目標とし、ご協力願います。



② 北海電気工事(株)苫小牧支店長様

- ・ 今回で3回目の出席となったが、毎回、事故検討会を含めて参加者からの忌憚のない意見が多く出され、有意義な安全大会になっていると思います。
- ・ 私たちの仕事は電力の安定供給に寄与することで、先日の停電事故の際も使命感をもって対応して頂いた。
- ・ 仕事を進めるうえで必要なことは、現場の方々が事故や災害に遭わないよう、しっかりとした体制づくりを構築することが重要である。ぜひ、ベテランの方々の経験を若い世代につなぎながら労働災害ゼロを継続していただきたい。
- ・ 昭和53年からKY活動が導入され、労働災害が減少した。しかし、ここ数年は横ばいの状態が続いている。人的要因である「油断」「知識」「経験」が邪魔しているところがある。当社では危険予知能力の向上をテーマとして安全活動を進めているが、こういった安全大会や安全活動をしっかりと行うことでも安全最優先の意識が高まる。
- ・ 瀧澤電気さんの安全基本方針の中に「心身の健康管理」というのがある。健康管理は生活習慣病を含め自主管理が中心であるが、組織のコミュニケーションの中で自分自身と仲間の健康に気付き、予防することもできる。
- ・ 今後も災害事故、疾病ゼロの継続をお願いする。



③ 北海道電力(株)苫小牧統括変電GL様

- ・ 今日から皆様方と一緒に「安全の一日一日」を積み重ねていきたいと思っている。
- ・ 最近発生した事故では、ベテランの方が被災した事例がある。ベテランの方々は多くの成功体験を持っており、これが時として「今回も大丈夫」という意識につながり事故を起こすことがある。若者からの声も聞くことをお願いする。
- ・ 一旦事故が発生すると、これまで築き上げてきた信用を一瞬にして失ってしまうこともある。自分一人ではできない部分においてはみんなで助け合い、無災害を継続して頂きたい。
- ・ 事故事例検討会の中で「イッツ ストップ」という言葉がでてきた。物事を行っていく上で色々と予定外行動が出てくると思う。特に「初めて」「久しぶり」「変更」と言ったキーワードの時にはちょっと立ち止まって上司に相談する等、即決してしまわないことが大切である。
- ・ 先ほど、構内を見学させて頂いた。非常に整理整頓がなされている会社であると感じた。整理整頓は、安全に直結する事象であるので、引き続きお願いしたい。
- ・ 本日の安全大会で安全宣言を頂いた。これはみなさんの約束事だと思っております。この約束を守って頂き、次の安全大会まで無事故でお願いします。

